地域生活課題に対応するための方策及び包括的な支援体制について

（特にご意見をいただきたい部分）

**１　包括的・重層的な支援体制を実現していくための方向性について**

（１）包括的・重層的な支援体制をより強固なものにしていくために、必要な考え方、取組はどんなことでしょうか。

（２）（資料１ー２）それぞれの圏域ごとに求められる役割は、どんなことでしょうか。

（３）現在、様々な支援制度は、対象、分野ごとに体系が立てられていることが多くなっていますが、どんなところに切れ目があり、どんな場面で「包括的、重層的な相談・支援」の必要性を感じますか。

**２　区の取組の方向性について**

資料１－１において、高齢者、子ども、障害者など、対象や属性にとらわれない、もし

くは、どのような対象や属性にも求められる区の施策の方向性を示していますが、その方向性を体系立てるうえで、必要な視点は、挙げている以外にあるでしょうか。

**３　包括的・重層的支援体制が目指していくものについて**

（１）行政、区内事業者、区民を含む区全体として、①どんな取組が進めば、②どんなことが改善すれば、③区民にどんな実感を持ってもらえれば、いきいきと安心して暮らせる社会に近づくと考えられますか。

（２）今後、包括的な相談・支援体制を展開していくうえで、自分から相談・支援機関に出向いて相談しない、できない「潜在的要支援者」を必要な支援につなげることが、非常に重要だと認識しています。どのような窓口、機関、制度ならば、複雑な生活課題を抱える方々が、相談・連絡・利用したいと思うでしょうか。

（３）資料１－１において、現在の地域福祉の進捗状況をある程度表していると考えられる数値の例を挙げていますが、この数値の状況について、率直なご意見をお願いいたします。